

官民連携事業による加賀市屋内プールの再整備について

1. 民間提案の概要について

加賀市中央公園の屋内プール整備に関するサウンディング型市場調査（5/30）において、本公園外の敷地にてプール建設の提案がありました。



図 事業提案位置

2. 公園内での再整備と比べ、提案事業が優れている点について

民間事業者が提案するプール事業は、公共事業よりも供用開始が早く、提案事業地周辺には市内の主要な交通路線や公共交通機関の中心である加賀温泉駅があることから交通利便性が高く、医療センターや今後整備予定の各施設との連携により、更なる健康増進や様々な相乗効果が期待されます。

また市内各学校のほぼ中心に位置することから、将来的な学校プールの集約においても利便性が良いと考えられます。

以上のことより、より優れている提案事業の内容で再整備を進めます。

○今後の都市計画（まちづくり）の考え方

加賀市都市計画マスタープランより、市街地の考え方として「作見地域のうち加賀温泉駅の周辺では、本市の賑わいの中心を担う交流の拠点として、都市的な土地利用の積極的な推進や市街地機能の充実を図ります」としており、作見地域の整備方針では「人が集う場として相応しい都市景観の形成のほか、公共公益施設、文化施設、広域的な商業施設・医療施設など多様な都市機能が集積する都市のシンボルとなる新たな空間の形成・創出を積極的に推進します」としており、加賀温泉駅周辺に整備し、多様な都市機能と連携することによって、更なる賑い創出が期待できます。

○交通利便性

- ・提案事業地の周辺には、国道8号や県道147号が通っており、2つの路線は加賀市内の北と南、西と東を結ぶ主要な交通路線であるため、各方面から自動車でのアクセスがしやすい立地です。
- ・市内の主な公共交通機関は電車（IRいしかわ鉄道）とバス（北鉄加賀バス、キャンパス）であり、それらの中心となっている加賀温泉駅（電車：動橋駅と大聖寺駅の間、バス：8路線の停留所）の周辺であるため、公共交通機関によるアクセスもしやすい位置です。

○健康づくりの増進

- ・加賀温泉駅前に位置する医療センターと連携を図ることによって、通院者の利用（リハビリ、イベント等）など新たな活用方法が期待できます。
- ・市民の更なる健康増進に向け、プール施設、医療センター、今後整備が期待される福祉、商業施設など多様な都市機能と連携し、様々な情報のデジタル化、医療機関との共有により、デジタル田園健康特区の取り組みを一層推進することを目指します。

○周辺地域の活性化による相乗効果

- ・加賀温泉駅南地区には、地域密着型のショッピングセンターや産直マーケットなどを誘致した複合型アウトレットモールを整備する計画があり、今後更なる賑わいが生まれることが想定されます。それら各施設との連携を図ることで、プール施設は市民にとってより身近な施設となり、プール施設の利用者が近接する各施設を利用することで集客力が向上するなどの相乗効果が期待できます。

○早期の供用開始

- ・公共事業によるプール整備スケジュールより、民間事業者によるプール整備スケジュールの方が供用開始までの期間が短く、より早く市民にサービスを提供することができます。

○将来的な利活用

- ・小中学校プールの多くは、老朽化の進行による修繕工事費の増加やプール更新など多額の財政負担が予想され、児童・生徒数の減少も踏まえ、今後新設する屋内プールに学校プールが集約されることが想定されます。提案事業地は市内各学校のほぼ中心に位置し、主要な交通路線から近いいため、各学校からアクセスがしやすく、利便性の良い立地です。

3. 今後の進め方について

屋内プールは、バリアフリー・ユニバーサルデザインやカーボンニュートラル等の時代の要請に応じた整備はもとより、利用者の利用形態に合わせた多様な機能の導入による質の高いサービスを提供するため、様々なアイデアを民間事業者から求めたいと考えています。

そこで、プールの建設位置、事業実施期間を含めた、加賀温泉駅周辺でのプール整備の設計・建設に関する提案を事業者から公募し、プロポーザル方式で事業者選定を行います。

なお、運営に関しても、設計が完成した後に、指定管理者の公募を予定しています。